

第15回 岩室村少年の主張発表会

伸びびようっ 伸ばそっっ 青少年

「感性」が、キラリ輝いて……!



「村民の青少年健全育成に対する関心を高め、理解を深めてもらおう」と毎年行われている「少年の主張発表会」がことしも先月4日、公民館講堂において開催されました。

今回で15回目を迎えた同発表会。当日は、村内の小・中学校から代表に選ばれた11名の発表者が、会場に詰めかけた家族やクラスメートの前で、子どもらしい感性がキラリと輝く主張を、堂々と発表しました。

なお、岩室中学校の1年生・佐藤未奈さんが、先月29日に燕市文化センターで行われた西蒲・燕地区大会に出場しました。

地球のごみ



岩小六年 榎橋 舞さん

リサイクルの話がテレビでも出ています。ごみをどんどん捨てていたら、地球がごみでうめつくされてしまいます。「ちりもつもれば、山となる」のことわざのおりです。自分たちの出すごみの問題は、自分たちで解決しなければなりません。小さなことから、皆さんも始めてみませんか。

大きい夢をもとう



岩小六年 阿部つかささん

「今の子どもは、夢が小さい」と、言われたことはありませんか。小さいころには大きな夢をもっていたのに、学年があがるにつれて小さくなっていくようです。私は、将来ファッションデザイナーになりたいです。そして、私も自分の夢がかなうように、努力していきたいと思っています。

生活の中で大切なもの



岩小六年 渡辺加奈子さん

私は、「協力」が、生活していく中で大切なものだと思います。

一番大切な二人



岩中三年 土田 正和さん

僕がこの発表をしようと思った理由は、皆さんに両親の大切さを知ってほしいからです。両親がいなければ、絶対に普通の生活をしていけません。僕は、この内容を考えているうちに、改めて両親の大切さを知りました。親子同志で争うことは、本当はいやなものです。だから、そのようなことにならないためには、親孝行をするべきだと思います。皆さんも、わかってください。一番大切な二人を。

裏作業



岩中二年 下村 美里さん

私がこのテーマを選んだ理由は、仕事の表面だけでなく、裏も見えてほしかったからです。そして、裏作業の大切さを知ってもらいたかったからです。私の生徒会での体験を通じて、裏作業による姿勢が変わったところを発表します。裏があつての表のことを、みんなにしっかりと分かってほしいと私は思います。

とっておきの十五歳(いま)



岩中三年 阿部 佳子さん

とっておきのものって、どんな物のことを言うかわかりますか。それを知っているのは、自分自身だけということに気づいていますか。そんなものについて、真剣に考えたことがありますか。私は、十五歳だから、とっておきだと思ふ物を見つけました。皆さんのとっておきを見せて、そしてそれを大切にしてください。

これからの

岩室村と環境



岩小六年 加藤 智大さん

最近、気になることがあります。それは、毎年毎年、人間が世界中で木を切ったり、森を焼いたりして植物をへらしていることです。そこで、この岩室村にしようとして、今の岩室村の環境などをよくし、住みよい村を作りあげるにはどうしたらよいか、ということをも自分なりに考えてみました。

自分の翼を信じて



岩中一年 大岩 加奈さん

人は誰もが、翼が背中に生えており、自由に飛べない色を描くと、美しい光を放ちながらはばたける不思議な翼を持っています。その翼を見るためには、目をいくら大きく開いてもダメ。広い心で見ると、見えるものなのです。そんなどんなものにも変えられない、かけがえのない翼があるにもかかわらず、人と比べて喜んで悲しんだりしたことはありませんか。もっと真の喜びが味わえるようにありのままの自分を好きになり、はばたかせてみませんか。自分のつばさを。

二つの手紙から



岩中二年 佐藤 澄恵さん

自分の知らない事、それりどの位あると思いますか？ それは楽しいことかもしれないし、悲しいことかもしれません。私は、楽しいことは一緒に楽しみたいし、悲しいことは一緒にわかちあいたい。私の発表にはそんな気持ちがつまっていますし、二人の人に感謝したいと思っています。私の発表を聞いて、自分の身の回りをもっとよく考え、身の回りを知るといふ大切さをわかってほしいと思います。

生命を見つめて



岩中一年 佐藤 未奈さん

私が、この発表をしようと思ったのは、祖母が亡くなって、命の短

